

**製品名: RALBP1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe83807**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.38mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,FC 1:20-1:100
分子量	Calculated MW: 76 kDa ; Observed MW: 95 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RALBP1
別名	RALBP1; RIP1; RLIP1; RLIP76;;RalBP1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q15311
免疫原	ヒト RalBP1 由来の合成ペプチド

**背景**

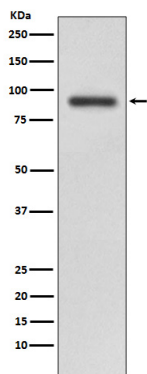
RALA および RALB の下流エフェクターとして機能する多機能タンパク質。GTPase 活性化タンパク質/GAP として、CDC42 および

RAC1 の GTPase 活性を刺激してこれらを不活性化できます。Ral シグナル伝達経路の一部として、リガンド依存性 EGF およびインスリン受容体を介したエンドサイトーシスも制御する可能性があります。

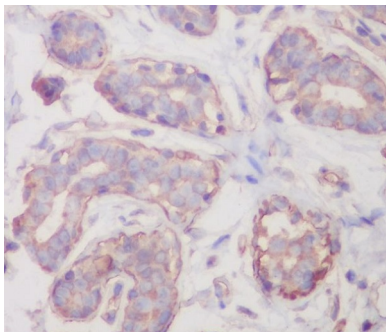
## 研究分野

-

## 画像データ



HeLa 細胞溶解物中の RALBP1 発現のウェスタン プロット解析。



RALBP1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳房の免疫組織化学分析。